

# 6月は環境月間 ～身近なことから取り組もう～

環境脱炭素社会推進室 ☎ 32-2051

## ■家で！職場で！「クールビズ」に取り組もう

- ✓通気性の良い服など、軽装で過ごす
- ✓冷房と扇風機を活用して空気を循環させる
- ✓エアコンのフィルターをこまめに掃除する
- ✓夏野菜を食べて体の中を冷やすなど

## ■電気自動車を活用しよう

電気自動車はガソリンを使用しないので、二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)の削減につながります。市では超小型電気自動車「コムス」を活用しています。



## 令和3年度の実績

CO<sub>2</sub>削減量 = 1.4t - CO<sub>2</sub>/年  
走行距離 = 12,653km

## ■親子エコフェスタ2023

とき 展示・クイズラリー = 6月1日(木)～30日(金)午前10時～午後7時(30日は午後2時まで)、工作・ゲーム = 6月17日(土)午前10時～午後4時、ミマデザインショー = 6月17日(土)午前11時～、午後1時30分～

ところ アルネ・津山、ソシオ一番街など

## 第51回河川清掃

とき 6月4日(日)午前7時～9時  
ところ 吉井川(新境橋～新大橋)、宮川(北園町・中国道ボックス～新大橋)、蘭田川(小田中・中国道ボックス～新橋)

環境生活課 ☎ 32-2055

# 情報公開・個人情報保護 制度の運用状況

総務課(市役所3階) ☎ 32-2041

## ■情報公開制度

請求件数	31件 (うち全部開示5件、一部開示25件、不開示1件)		
対象行政文書数	10,662件		
行政文書の内容	総務関係	81件	
	入札関係	4,144件	
	環境福祉関係	3件	
	環境衛生関係	0件	
	農林関係	4件	
	建設関係	3件	
	上下水道関係	6,363件	
	教育関係	64件	
	前期継続審査	0件	
	今期審査請求	0件	
審査請求の件数と処理状況	取り下げ	0件	
	決定内容	認容	0件
		一部認容	0件
		棄却	0件
		却下	0件
次期継続審査	0件		

## ■個人情報保護制度

実施機関	個人情報取扱事務届出件数	
	市長	4件
教育委員会	0件	
選挙管理委員会	0件	
公平委員会	0件	
監査委員	0件	
農業委員会	0件	
固定資産評価審査委員会	0件	
議会	0件	
合計	4件	
自己情報の開示請求、訂正等の請求及び請求に対する決定の状況	1 自己情報の開示の請求 25件	
	実施機関	請求件数 全部開示 一部開示 不開示 却下
市長	24件 4件 18件 2件 0件	
市長以外	1件 0件 1件 0件 0件	
合計	25件 4件 19件 2件 0件	
2 自己情報の訂正等の請求 0件		
審査請求の件数と処理状況	実施機関	前期継続審査 今期審査請求 取り下げ 決定内容 次期継続審査
	市長	0件 1件 0件 0件 認容 一部認容 棄却 却下 1件
	市長以外	0件 0件 0件 0件 認容 一部認容 棄却 却下 0件
	合計	0件 1件 0件 0件 認容 一部認容 棄却 却下 1件

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

# 第13回津山づくりミーティング ～地域の防災力～

秘書広報室 ☎ 32-2029

防災の知識、技能などを持つ防災士3人が、市長と意見交換しました。



## 「自分ごと」として考える

参加者 災害はいつでも起こり得るものだが、なかなか「自分ごと」として考えられていない。

参加者 自分を守ることがまず一番。自分を守ることができるから、他人を守ることできる。

参加者 「自助」「共助」「公助」と役割を分けて考えるだけでなく、わたしたち住民、地域、行政のそれぞれが「自分ごと」として自身のことに取り組む気持ちが大切。

市長 それぞれの「自助」を考えることが、地域の防災力を高めていくことに繋がる。

## 互いの顔が見えるまちづくり

参加者 地域で情報共有し、支援の必要な人が周りを頼っていいと思える繋がり作りが大切。

参加者 地域の防災訓練に小学生が参加することで、保護者も興味を持つ。さまざまな世代に広がることで、課題や解決策を話し合える。

参加者 地域で一緒に作った防災マップなどとともに、家族や職場で話すことで、地域の避難経路や避難所の情報を共有できる。

参加者 互いの顔が見えるまちづくりが必要。防災士として、皆さんが「自分ごと」として考える取り組みを応援したい。

市長 今後も、地域の皆さんと一緒に、防災・減災に取り組んでいきたい。

市ホームページに掲載中↓



左から 千代延拓磨さん、原田純志さん、谷口市長、西村始さん

# 5人が活動中! 津山市地域おこし協力隊

地域づくり推進室 ☎ 32-2032

「地域おこし協力隊制度」は、市外のさまざまな人材を受け入れ、地域のPR活動や地域活性化を支援する取り組みです。

3月29日、令和4年度下半期の活動報告会で、各隊員が今までの活動や今後取り組みたいことを発表しました。

ワサビの栽培面積を増やし、ワサビの葉や根を使った特産品の開発に取り組みます。



高尾光昭さん (あば村運営協議会)

民泊やコミュニティハウスとして活用できるよう、地域の空き家の改装を進めます。



岡誠さん (城西まちづくり協議会)

マウンテンバイクコースや木のおもちゃを使い、山と人をつないでいきます。



高山優太郎さん (加茂地区木材組合)

ブドウの栽培研修に参加し、栽培面積の拡大、収穫した農作物の加工に取り組みます。



三谷耕平さん (アグリ堀坂)

津山の農産物を使った独自商品の販路拡大のため、県外の販売会などに参加します。



三間博之さん (株式会社曲辰)